

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	座間支援学校	教育部門・学部	肢体不自由教育部門 小・中学部 高等部 知的障害教育部門 高等部
-----	--------	---------	-------------------------------------

1 学校のミッション

共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行う。

肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の特別支援学校として、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育を行うとともに、一人ひとりの障がいの状態等に応じた就労支援の取組を充実させる。医療的ケアを必要とするなど、多様な教育的ニーズのある児童・生徒の教育活動全般について、安全に実施する校内体制の整備をすすめ、個々の障がい及び健康等の状況に合わせた専門性の高い指導を実践する。加えて、校内研究などで積み上げてきた教育実践の成果や、地域との連携を生かし、一層の授業改善に取り組むとともに、インクルーシブ教育を推進する。

また、センター的機能を発揮し、地域の各学校における支援を必要とする児童・生徒等への教育的ニーズに応じた効果的な支援を行うとともに、これらの学校と交流及び共同学習等を通じた、児童・生徒の相互理解を図る。

2 学校教育目標

よりよく豊かに生きるための力を育む

- 一人ひとりの心身の発達、障害の状態及び特性に応じた、きめ細やかな教育を実践する。
- 自立と社会参加に必要な知識や技能を養う教育を実践する。
- 「よりよく豊かに生きる」ことを支えるインクルーシブ教育を推進する。

3 計画策定時点での課題

- 一人に一台整備された端末を活用し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別最適な学び、協働的な学びを実現するための授業改善が課題である。
- 個別教育計画の作成におけるアセスメントの活用及び専門職等との連携の校内の仕組み作りと書式の見直しが必要である。
- 多角的な視点で指導方法を検討しチーム指導を行うこと、そのための相談システムの構築が課題である。
- 地域との交流及び共同学習及び地域資源の活用や地域に開かれた教育課程の実践を積み重ね、インクルーシブ教育を推進することが求められている。
- 持続可能な業務遂行となるよう様々な働き方の職員との相互連携や、参画を図るための対話の積み重ね、若手のサポートシステムの構築が課題である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	○カリキュラムマネジメントを進め、「わかる」「できる」「伝わる」力の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元計画を中心とした授業改善の仕組みをつくり、「めざす児童生徒像」を育成するための単元配列表や年間指導計画の作成と整理を進める。 ・ICT機器の活用により、個別最適な学びと協働的な学びにつながる授業実践を行う。
2	児童・生徒 指導・支援	○児童生徒一人ひとりの特性や教育的ニーズを的確に把握し、支援・指導を組織的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを活用した個別教育計画作成に組織的に関わるシステムの構築と、書式の整理を行う。 ・多角的な視点で指導・支援方法を検討し、組織的な指導につなげる相談システムを構築する。
3	進路指導・ 支援	○一人ひとりの社会的自立や生活の充実をめざし、主体的な進路選択や個に応じた進路実現を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感と自己肯定感を育むとともに、自己決定力・意思決定力の育成を図る。 ・本人保護者のニーズに応じて、進路に関する情報提供を工夫して行い、情報の共有化を図る。
4	地域等との 協働	<p>○地域との連携及び地域資源を活用した教育活動を積み重ね、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>○センター的機能を充実させるとともに交流及び共同学習を進め、インクルーシブ教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での役割を児童生徒が感じられる取組や実体験を通じた多様な授業を積み重ね、学ぶ意欲の向上につなげる。 ・地域の学校や関係機関と連携し互いの理解が深まる取組を積み重ね、交流及び共同学習の推進を図る。
5	学校管理 学校運営	<p>○安心して快適な教育環境整備を進め、組織的・計画的な学校安全管理を推進する。</p> <p>○組織的な学校運営と校務の効率化を図り、児童生徒と向き合うための時間を確保するとともに、不祥事・事故防止に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の老朽箇所（トイレ・プール等）の改修を進める。 ・地域と連携し、防災体制整備の充実を図る。 ・業務の効率化を図り、働き方改革を推進する。 ・良質な同僚性をもとに、不祥事防止、事故防止に努め、児童生徒の人権を尊重した教育を実践する。